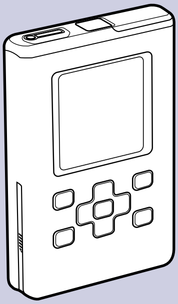
SONY

ポータブルハードディスク
オーディオプレーヤー

Network Walkman

取扱説明書



WALKMAN
Atrac3plus
MP3

NW-HD5

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

“ウォークマン”、“WALKMAN”はヘッドホンステレオ商品を表すソニー株式会社の登録商標です。

WALKMAN はソニー株式会社の登録商標です。

2-629-002-**02**(1)

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために注意事項を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

8~12ページの注意事項をお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に一度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントとの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら、液漏れしたら



❶ ACパワーアダプターを使用中の場合は、コンセントから抜く。

❷ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する。

目次
索引

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電　破裂

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　接触禁止　ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

目次

準備する

本機に音楽を転送する

音楽を再生する

次のページにつづく ⇩

その他の使いかた

困ったときは

その他

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属のソフトウェアについて

- □ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- □ 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- □ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- □ 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- □ 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- □ 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- □ 付属のソフトウェアは、この取扱説明書の画面と一部違うところがある場合があります。
- □ 本機に付属のソフトウェア上で表示できる言語は、パソコンにインストールされているOSによって異なります。お使いのパソコンのOSが、表示したい言語に対応しているかどうかをご確認ください。
  - – 言語によっては、このソフトウェア上で正しく表示できない場合があります。
  - – ユーザー定義の文字や特殊な記号は表示されない場合があります。
- □ この取扱説明書は、お客様がWindowsの基本操作に習熟していることを前提にしています。
  パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

次のページにつづく ⇩

- SonicStageおよびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- OpenMG、ATRAC、ATRAC3、ATRAC3plusおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。
- Microsoft およびWindows、Windows NT、Windows Media は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintoshは、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- PentiumはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 本機はドルビー・ラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。
- MPEG Layer-3 audio coding technology and patents licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright © 2000-2004 Gracenote.
  Gracenote CDDB® Client Software, copyright 2000-2004 Gracenote.
  This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending. Services supplied and/or device manufactured under license for following Open Globe, Inc. United States Patent 6,304,523.
  Gracenote is a registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.

この度はソニー製品をご購入頂き 誠にありがとうございます。
本製品は、店頭でお客様に実際に手にとってご試聴・ご体験頂くことを目的として、あらかじめ試聴用楽曲データをプリインストールしております。
この楽曲データは店頭での試聴用途のためのものですので、お客様がお使いのPCに転送することはできません。楽曲を削除される場合は、SonicStage3.1上で行って頂きますようお願いいたします。
（地域によっては試聴用楽曲データがプリインストールされていない場合があります。）

![警告]



下記の注意事項を守らないと
火災・感電により大けがの原因と
なります。

運転中は使用しない。



- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない。



水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、ACパワーアダプターとUSBケーブルを本体から抜き、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

海外で使用しない。



交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない。



感電の原因となります。

次のページにつづく ⇩

指定以外のACパワーアダプターを使わない。



破裂・液漏れや過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

内部をむやみに開けない。



本体および付属の機器は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。

ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない。



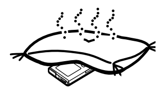
感電の原因となることがあります。



本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない。



熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない。

禁止

耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない。

禁止



突然大きな音が出て、耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれない。

禁止

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

目次
索引

電池についての安全上のご注意

液漏れ、破裂、発熱、発火、誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険 充電式電池が液漏れしたときは

充電式電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。

液が本体内部に残ることがあるため、ソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

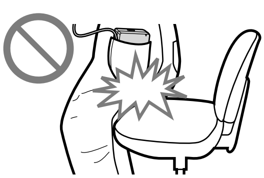
⚠危険 充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 指定されたACパワーアダプター以外で充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 落としたり、重いものを乗せたり、強いショックを与えたり、圧力をかけたりしない。本機の故障の原因となります。
- 以下のような場所に置かない。
  - 直射日光があたる場所や暖房器具の近くなど温度が非常に高いところ。
  - ダッシュボードや、炎天下で窓を閉め切った自動車内（とくに夏季）。
  - 磁石やスピーカー、テレビのすぐそばなど磁気を帯びたところ。
  - ホコリの多いところ。
  - ぐらついた台の上や傾いたところ。
  - 振動の多いところ。
  - 風呂場など、湿気の多いところ。
- ラジオやテレビの音に雑音が入るときは、本機の電源を切って、本機をラジオやテレビから離す。
- ヘッドホン使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用をやめて、医師またはお客様ご相談センターに相談する。
- 本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。
  - 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。



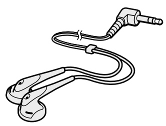
  - 本体にヘッドホンを巻き付けたまま、かばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。

ご注意

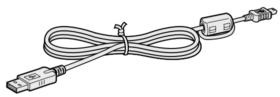
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合、および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。

付属品を確かめる

- ヘッドホン（1）



- 専用USB接続ケーブル（1）



- ACパワーアダプター（1）
- キャリングケース（1）
- CD-ROM（1）*
  （SonicStage（ソニックステージ）ソフトウェア、取扱説明書のPDF）
- はじめにお読みください（1）
- 保証書（1）
- ソニーご相談窓口のご案内（1）
- カスタマー登録のお願い（1）
- 安全のために（1）

（充電池はあらかじめ本体にセットされています。）

* CD-ROMは、音楽CDプレーヤーでは再生しないでください。

推奨アクセサリーのご案内

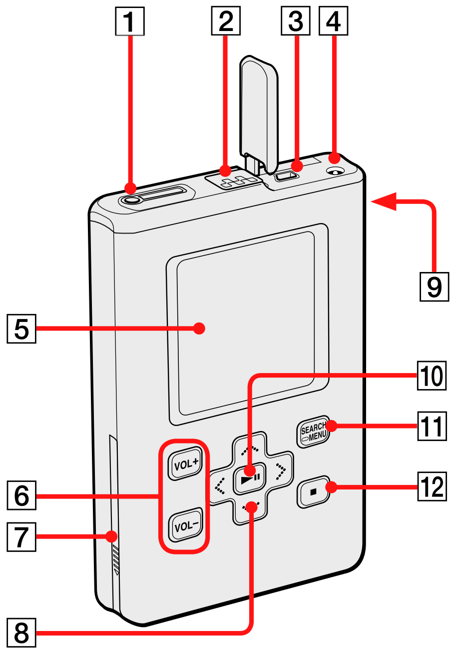
本機用の推奨アクセサリーとして、下記のアクセサリーをご案内いたします。

- 漢字表示対応3行ジョグダイヤルリモコン
  RM-MC40ELK
- 漢字表示対応スティック・コントローラー
  RM-MC35ELK

別売りリモコン使用時のご注意

- 推奨のリモコンに表示されていても、本機では、一部使えない機能があります。
- 詳細な使いかたは、下記URLのPDFをご覧ください。
  －http://www.sony.co.jp/sd/pr/manual/hddwm.html
- 各アクセサリーについて詳しくは下記URLをご覧ください。
  －http://www.ecat.sony.co.jp/audio/walkmanacc/acc/index.cfm?PD=17150&KM=RM-MC40ELK
  －http://www.ecat.sony.co.jp/audio/walkmanacc/acc/index.cfm?PD=10824&KM=RM-MC35ELK

各部の名前



1 ∩（ヘッドホン）/LINE OUT（ライン アウト）ジャック（☞31ページ）

2 HOLD（ホールド）スイッチ（☞33ページ）

3 USBジャック（☞26ページ）

4 DC INジャック（☞15、26ページ）

5 表示窓（☞34ページ）

6 VOL＋*/VOL−（音量）ボタン（☞32ページ）

7 電池カバー（☞16ページ）

8 ⌃/⌄/‹/›ボタン（☞31ページ）

9 ハンドストラップ穴**

10 ►II（再生/一時停止）ボタン（☞31ページ）

11 SEARCH（サーチ）/⬬MENU（メニュー）ボタン（☞35ページ）

12 ■（停止）ボタン（☞33ページ）

* 凸点（突起）が付いています。操作の目印として使ってください。

**お手持ちのハンドストラップを付けられます。

シリアルナンバーについて

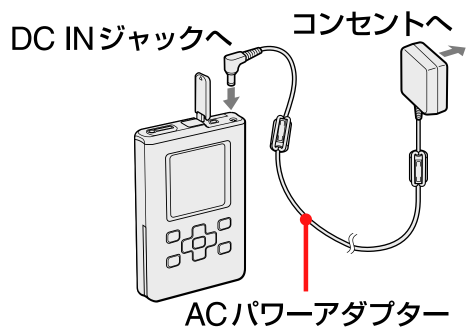
カスタマー登録の際に、本機のシリアルナンバーの入力が必要となります。シリアルナンバーは、本体底面のラベルに印刷されています。ラベルをはがさないようにしてください。

充電する

初めて使うときや電池が消耗したときは、充電式電池（充電池）を充電してください。

ACパワーアダプターを本機のDC INジャックに接続する。

先にACパワーアダプターを接続して、次にコンセントに差し込む。



表示窓の電池マークが「充電中」の表示に変わり、充電が始まります。
充電は約3時間*で終わり、
「充電完了」と が点灯します。
約1.5時間*で約80%充電されます。

* 室温で電池残量がない状態から充電したときの目安です。電池残量や電池の使用状況により、充電時間は異なります。また、充電時の温度が低い場合は、充電時間は長くなります。

USB接続で充電するには

パソコンの電源を入れて、USB接続ケーブルをパソコンに接続する（☞26ページ）。
表示窓の電池マークが変わり、充電が始まります。
約6時間*で充電が完了します。なお、ACパワーアダプターが接続されているときは、ACパワーアダプターから充電されますが、充電時間は長くなります。
ACパワーアダプターを接続せずにUSB接続した状態で、パソコンがサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）に入ると、充電されずに電池が消耗します。

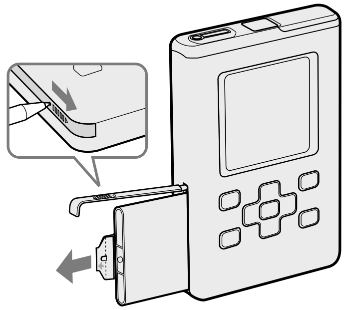
* 電池が消耗しきっている場合は、充電時間は長くなります。また充電中は本体を操作したときだけ、充電の表示をします。

次のページにつづく ⇩

目次
索引
準備する

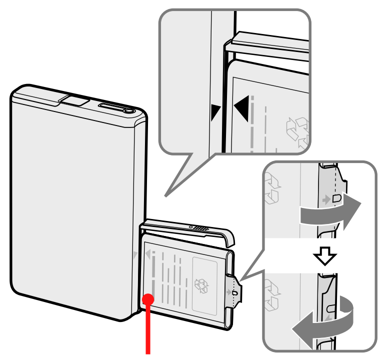
充電池を取り出すには

電池カバーの穴に、ペン先のような先の細いものを差し込み、▷の方向へスライドさせて電池カバーを開ける。充電池のラベルを手でつまんで充電池を取り出す。
充電池を取り出すと、ACパワーアダプターを接続していても電源が入りません。



充電池を入れるには

電池カバーを開け、充電池の▶（表面）と本機の▶（側面）が合うようにして充電池を入れ、充電池のラベルを折りたたんで電池カバーを閉める。

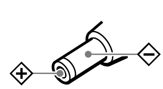


ご注意

- USB接続で充電する場合、パソコンの電源が充分でないと、充電時間が長くなることがあります。
- USB接続で充電中に、パソコンの状態によっては、充電が停止します。
- 充電中に長時間パソコンとUSB接続していると、本体の温度上昇を抑えるために一時的に充電を停止することがあります。USB接続ケーブルを外し、しばらくたってから再び充電をしてください。
- 3か月以上お使いにならないときは、充電池を取り出してください。
- 充電は周囲の温度が5 ～ 35℃の環境で行ってください。

ACパワーアダプターについてのご注意

- 本機には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使うと、故障の原因となることがあります。



- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合はすみやかにコンセントから抜いてください。
- 充電には付属のACパワーアダプターをお使いください。

次のページにつづく ⇩

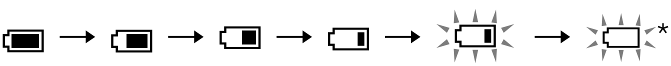
リチウムイオン電池の廃棄について

Li-ion

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCのホームページを参照してください。
URL: http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

電池残量を確認する

表示窓に電池残量が表示されます。黒い目盛りが少なくなるほど、電池残量が減っています。



* 表示窓に「電池残量がありません」と表示され、「ピー」という音がします。

電池が消耗しきったら、充電池を充電してください。

ご注意

- 残量表示は目安です。1つの目盛りが4分の1を示しているわけではありません。
- 動作状況および使用環境により、残量表示は増減します。
- ACパワーアダプターを接続していても、充電池を取り出すと本体の電源が切れます。

電池の使用可能時間（連続再生時）*

ATRAC3plus（アトラックスリープラス） 48kbps再生時で約40時間、MP3（エムピースリー） 128kbps再生時で約30時間です。再生時間は、使用状況によって変わります。

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

SonicStageをパソコンにインストールする

付属のCD-ROMを使って、パソコンにSonicStageをインストールします。

必要な環境を準備する

以下のハードウェアおよびソフトウェアが必要です。

パソコン	IBM PC/AT互換機
	● CPU：Pentium III 450MHz以上 ● ハードディスクの空き容量：200MB以上（1.5GB以上推奨）（お使いのWindowsのバージョンや音楽ファイルの扱う量に比例して空き容量が必要です。） ● RAM：128MB以上
	その他　● CDドライブ（WDMによるデジタル再生機能に対応しているドライブ）（CD書き込みには、CD-R/RWドライブが必要です。） ● サウンドボード ● USBポート
OS	下記、日本語版標準インストールのみ Windows XP Media Center Edition 2005/ Windows XP Media Center Edition 2004/ Windows XP Professional/Windows XP Home Edition/ Windows 2000 Professional（Service Pack 3 以上）/ Windows Millennium Edition/Windows 98 Second Edition
ディスプレイ	ハイカラー（16ビットカラー）以上、 800×600ドット以上（1024×768ドット以上推奨）
その他	● 音楽CDのデータベースサービス（CDDB）、インターネット音楽配信サービス（EMD）を利用する場合は、インターネットへの接続環境 ● WMAファイルを再生する場合は、Windows Media Player 7.0上がインストールされた環境

次のページにつづく ⇩

ご注意

- 以下のシステム環境での動作保証はいたしません。
  - ☞18ページ記載のOS以外のOS
  - 自作PC
  - 標準インストールされているOSから他のOSへのアップグレード環境
  - マルチブート環境
  - マルチモニタ環境
  - Macintosh
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- Windows XP/2000のNTFSフォーマットは、標準インストール（お買い上げ時）でのみ使えます。
- すべてのパソコンに対して、システムサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）などの動作を保証するものではありません。

インストールする

インストールする前に、以下をお読みください。

- 他のすべてのWindowsのプログラムを終了させてください。
- 本機を使うときは、必ず附属のCD-ROMを使ってインストールしてください。
  - すでにOpenMG Jukebox、SonicStageがインストールされている場合は、上書きインストールされます。それまでにお使いいただいていた機器の機能は引き継がれ、新たに必要な機能が追加されます。ただし、MUSIC NAVIを利用していた場合は、その機能は使えなくなります。
  - SonicStage Premium、SonicStage Simple Burner、MD Simple Burnerがインストールされている場合は、共存します。
  - 登録した音楽データは、そのまま引き継がれます。念のため、音楽データのバックアップをとることをおすすめします。バックアップについては、SonicStageのヘルプ「マイ ライブラリをバックアップする」をご覧ください。
    音楽データの管理方法が一部従来と異なります。詳しくは、SonicStageのヘルプ「以前のバージョンのSonicStageをお使いの方へ」をご覧ください。
- 本機を専用USB接続ケーブルでパソコンに接続している場合は、USBケーブルを抜いてからインストールしてください。

次のページにつづく ⇩

1 パソコンで起動中の他のプログラムをすべて終了する。

以下の場合はインストールがうまくいかないことがあるため、インストールの前に、当てはまる項目がないか確認してください。

- Administrator権限/コンピューターの管理者でログオンしていない（Windows 2000/Windows XPのとき）。
- ウィルスチェックソフトが起動している（起動中の負担が大きいため）。

2 パソコンのドライブに付属のCD-ROMを入れる。

インストーラが起動し、インストールガイドが表示されます。

3 右の画面が表示された場合は、使用する地域または国を選択しクリックする。

表示されなかった場合は、手順 4 に進む。



4 「SonicStageインストール」をクリックし、画面の指示に従って操作する。

注意事項をよくお読みください。お使いの環境によっては20～30分かかることがあります。インストールが終わったら、必ずパソコンを再起動してください。

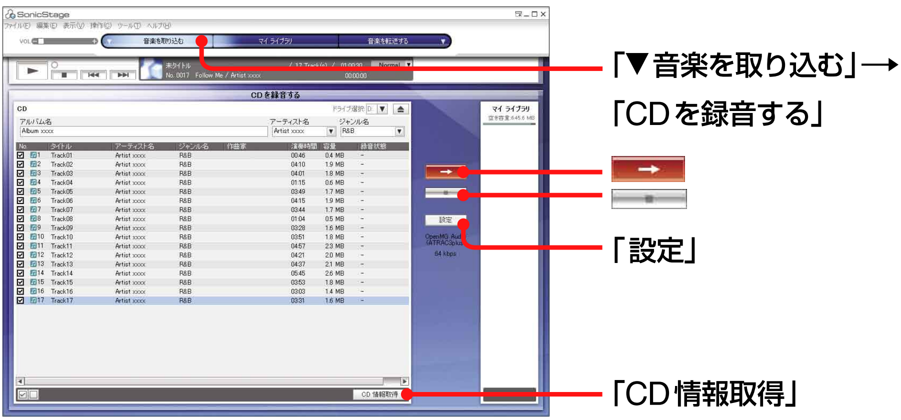
インストールできないときは、「困ったときは」（☞71ページ）をご覧ください。

SonicStageインストール



パソコンに音楽データを取り込む

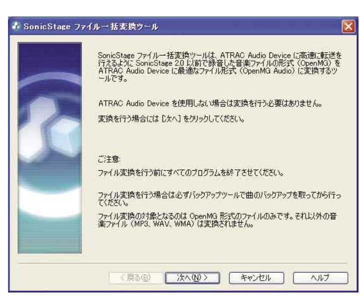
音楽CDの曲をSonicStageのマイ ライブラリに取り込んで、録音します。CD情報（曲名やアーティスト名など）を自動で取得したい場合は、あらかじめインターネットに接続しておきます。
音楽CD以外に、インターネットやパソコンの音楽ファイル（MP3ファイル）も取り込めます。
詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください（☞76ページ）。



① **デスクトップにある（SonicStage）をダブルクリックする。または、「スタート」－「すべてのプログラム」* －「SonicStage」－「SonicStage」の順にクリックする。**
SonicStageが起動します。
以前のバージョンのSonicStageをお使いになっていた場合、インストール後、初めてSonicStageを起動したときは、「SonicStageファイル一括変換ツール」** の画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

* Windows ME/2000/98SEでは「プログラム」

**本機に高速で音楽データを転送できるように、SonicStage2.0以前で録音した音楽ファイルの形式（OpenMG）を、本機に最適な形式（OpenMG Audio）に変換するツールです。



次のページにつづく

2 録音したい音楽CDをパソコンのドライブに入れる。

3 「▼音楽を取り込む」の▼にポインタを合わせ、メニューから「CDを録音する」をクリックする。

音楽CDのCD情報が一覧表示されます。

CD情報（詳細は下記）を自動で取得できなかったときは、インターネットに接続してから画面右下の「CD情報取得」をクリックして、CDDBからアルバム名やアーティスト名、タイトルなどを曲の一覧に取り込みます。

4 → をクリックする。

録音が始まります。

録音したくない曲があるときは、→ を押す前に、SonicStage画面で、トラック番号をクリックして ☑ を外す。

フォーマットとビットレート（☞23ページ）を変更するには

手順4で → を押す前に、SonicStage画面右側の「設定」をクリックして、「CD録音フォーマットの設定」の画面を表示する。

お買い上げ時の設定では、フォーマットはOpenMG Audio（ATRAC3plus）、ビットレートは64kbpsです。

録音を途中でやめるには

SonicStage画面の ■ をクリックする。

ご注意

SonicStageで使える音楽CDは、COMPACT DISC DIGITAL AUDIO マークが入っているCDのみです。コピーコントロールCDでの動作保証はいたしません。

次のページにつづく ⇩

CD情報とは？

CDに含まれている曲名、アルバム名、アーティスト名などです。SonicStageでは、CDをパソコンのドライブに入れると、CD情報のデータベースサービス：CDDB（Gracenote CD DataBase）から、インターネット経由で自動的に無償でCD情報を取り込みます。
CDがCDDBに未登録のときは、CD情報を取り込めません。CD情報は、SonicStageでのみ変更できます。

ATRAC3/ATRAC3plusとは？

Adaptive（アダプティブ） Transform（トランスフォーム） Acoustic（アコースティック） Coding（コーディング）3（スリー）の略で、高音質と高圧縮を両立させた音声圧縮技術です。ATRAC3plusは、ATRAC3を更に発展させ、音声データをCDの約20分の1（ビットレートが64kbpsのとき）に圧縮する音声圧縮技術です。

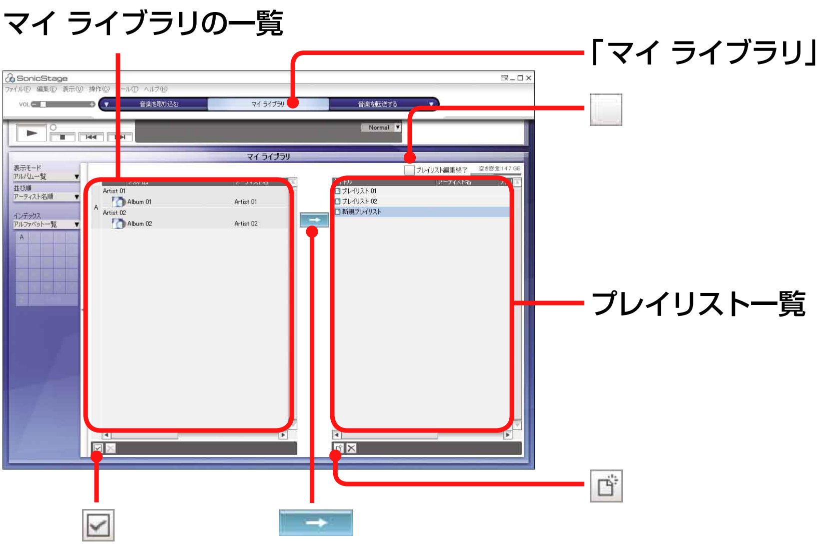
フォーマットとビットレートとは？

フォーマットとは音楽CD録音時のファイル形式（例：WAV、ATRAC3plusなど）で、ビットレートは転送時の1秒あたりのデータ量です。ビットレートは、数値が高いほど高音質になる反面、変換後の曲のデータ容量は大きくなります。
お買い上げ時の設定では、フォーマットはOpenMG Audio（ATRAC3plus）、ビットレートは64kbpsです。
フォーマットとビットレートを変更するには、SonicStageの転送画面で「設定」をクリックしてください。

SonicStageで曲を管理する

SonicStageのマイ ライブラリ画面で、曲の管理や編集ができます。雰囲気に合った曲をまとめたり、テーマごとに曲を1つのグループにまとめてプレイリストを作成すると便利です。プレイリストは、アルバムとして管理できます。
SonicStageについて詳しくは、SonicStageのヘルプをご覧ください（☞76ページ）。

マイライブラリ画面の見かた



プレイリストを編集する

プレイリストは、雰囲気に合った曲をまとめたり、テーマごとに曲を1つのグループにまとめて再生したいときに作ると便利です。

❶ 「マイ ライブラリ」をクリックする。
マイ ライブラリ画面に切り換わります。

❷ （プレイリスト 編集）をクリックする。
プレイリスト編集画面に切り換わります。

次のページにつづく ⇩

3 画面左側のマイ ライブラリの一覧で、プレイリストに追加したい曲をクリックする。

複数の曲を選択する場合は、Ctrlキーを押しながら曲を選ぶ。
表示されているすべての曲を選択する場合は、（すべて選択）をクリックする。

4 画面右側のプレイリスト一覧で、曲を追加するプレイリストをクリックする。

新しいプレイリストを作成して曲を追加するときは、（新規作成）をクリックする。
新しいプレイリストが表示されます。このとき、プレイリストの名前を入力できます。

5 をクリックする。

選択した曲がプレイリストに追加されます。

6 すべての曲を追加したら、（プレイリスト編集終了）をクリックする。

マイ ライブラリ画面に戻ります。

ドラッグ アンド ドロップで追加するには

アルバムや曲をマイ ライブラリの一覧からプレイリスト一覧にドラッグ アンド ドロップして、プレイリストに追加できます。曲をドラッグ アンド ドロップすると、ドロップした位置に曲が追加されます。

アルバムや曲の詳細情報を見るには

詳細情報を見たいアルバム、または曲をSonicStage画面で右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択する。
「アルバムのプロパティ」、または「曲のプロパティ」画面が表示され、詳細情報を確認、編集できます。プロパティ画面で編集した内容は、マイ ライブラリ画面に反映されます。

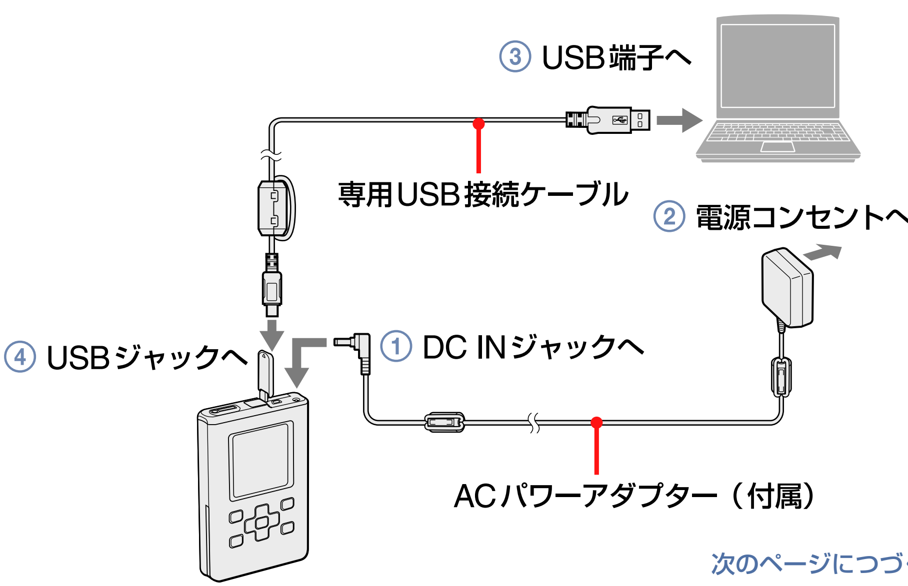
本機に音楽データを転送する

SonicStageのマイ ライブラリに録音した曲（音楽データ）を、ATRAC3plusまたはMP3のフォーマットで本機に転送します。
転送する音楽データには、CD情報に入っているアーティスト名やアルバム名などの情報が含まれています。



1 本体をパソコンと電源に、① ～ ④ の順番で接続する。

本体表示窓に「PC 接続中」と表示されます。
SonicStage画面に「自動転送の設定」画面が表示され、自動転送ができます。画面の指示に従って操作してください。詳しくはSonicStageのヘルプをご覧ください（☞76ページ）。



次のページにつづく ⇩

2 「音楽を転送する▼」の▼にポインタを合わせ、メニューから「ATRAC Audio Device」をクリックする。

本機に音楽データを転送する画面に切り換わります。

3 SonicStage画面左側(マイ ライブラリ側)の一覧で、転送したいアルバムをクリックして選ぶ。

選んだ曲だけを転送したい場合は、曲をクリックして選ぶ。複数のアルバムや曲を一度に転送する場合は、「Ctrl」キーを押しながら曲を選ぶ。

編集したプレイリストもプレイリスト一覧から選択して、転送できます。転送できるプレイリストは8,187個まで、1リストあたり999曲までです。

また、プレイリストを転送するときに、プレイリストにある曲がすでに本機に転送されている場合は、その曲は転送されず、プレイリスト情報のみが転送されます。

4 [→] をクリックする。

選んだアルバムや曲の転送が始まります。

転送の状態は、SonicStage画面で確認できます。

転送を途中でやめるには

SonicStage画面の [■] をクリックする。

ご注意

- 転送中は、本機に振動や衝撃を加えないでください。また磁気を帯びたものを、近づけないでください。
- SonicStage画面でデータ転送中の表示が出ている間は、USB接続ケーブルを抜いたり、充電池を取り出さないでください。転送中のデータが壊れることがあります。
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしません。
- 同時にお使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコンに接続しているときは、本機での操作はできません。本機で再生中に、パソコンと接続すると、再生が停止し、本体表示窓に「PC 接続中」と表示されます。

次のページにつづく ⇩

- 本機の空き容量が転送しようとした曲の容量よりも少ない場合、転送できません。
- 転送できる回数は、著作権保護のため制限される場合があります。
- 再生期限付きの曲の場合、転送できないことがあります。
- 転送中は、パソコンのサスペンド、スリープ（スタンバイ状態）、ハイバネーション（休止状態）機能は働きません。
- SonicStageで入力した文字は、文字の種類や文字数によって、本機で表示できないことがあります。これは本機の制限によるものです。
- パソコンが起動した状態で本機をパソコンに接続したままにしたり、本機に大量のデータを転送した後は、本体が温かくなる場合がありますが故障ではありません。ACパワーアダプターと専用USB接続ケーブルを抜いてしばらく放置しておくと常温に戻ります。
  比較的低い温度でも、本体の発熱部位が皮膚の同じ場所に触れたままの状態でいると、低温やけどの原因となる場合があります。特に肌の弱い方などは、長時間本体を保持することは避けてください。
- 本機のハードディスクの空き容量が少ない場合、転送が正常に終わっても「データベースがありません」というメッセージが表示されることがあります。
  この場合、再度本体をパソコンに接続し、聞かなくなった曲をパソコンに戻して空き容量を増やしてください。

音楽データをパソコンに戻す

音楽データをSonicStageのマイ ライブラリに戻します。



❶ **本機をパソコンに接続する(「本機に音楽データを転送する」の手順❶、☞26ページ)。**

❷ **「音楽を転送する▼」の▼にポインタを合わせ、メニューから「ATRAC Audio Device」をクリックする。**
SonicStageに音楽データを転送する画面が表示されます。

❸ **SonicStage画面右側(本機)の一覧で、マイ ライブラリに戻したいアルバムをクリックして選ぶ。**
選んだ曲だけを戻したい場合は、曲をクリックして選ぶ。
複数のアルバムや曲を一度に転送する場合は、「Ctrl」キーを押しながら曲を選ぶ。

❹ **[←] をクリックする。**
選んだアルバムの転送が始まります。
転送の状態は、SonicStage画面で確認できます。

次のページにつづく ⇩

転送を途中でやめるには

SonicStage画面の  をクリックする。

ご注意

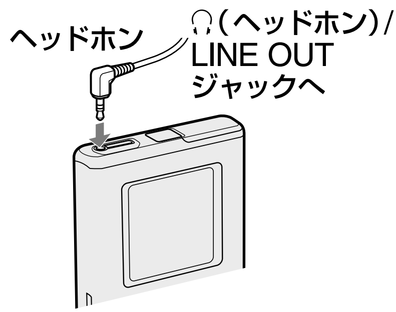
- パソコンから本機に転送した曲は、同じパソコンにしか戻せません。
- SonicStage画面でデータ転送中の表示が出ている間は、USB接続ケーブルを抜いたり、充電池を取り出さないでください。転送中のデータが壊れることがあります。

再生する

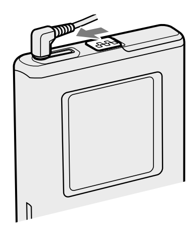
SonicStageを使って本機に転送した音楽データを再生できます（☞26ページ）。

本体の表示窓に表示されるメニューやメッセージなどの言語を変えられます（☞56ページ）。

1 **ヘッドホンを🎧（ヘッドホン）/LINE OUTジャックに接続する。**

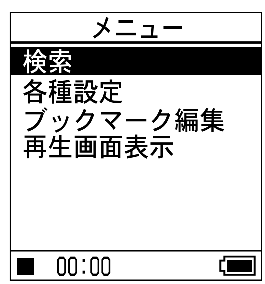


2 **HOLDスイッチを図の矢印の方向へスライドさせてHOLDを解除する。**



3 **►II以外のいずれかのボタンを押す。**

メニュー画面が表示されます。



4 **︿/﹀で「検索」を選び、►IIを押して決定する。**

検索画面が表示されます。



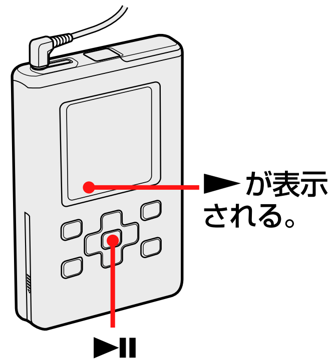
次のページにつづく ⇩

5 **⌃/⌄で、検索モードを選ぶ。**

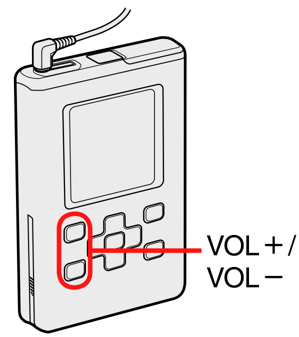
更に詳しく検索するときは、〉を押す。

6 **▶II を押す。**

表示窓の左下に▶が表示され、再生が始まります。もう1度▶IIを押すと、再生一時停止になります。



7 **VOL+/VOL− を押して音量を調節する。**



再生できる音楽データは？

本機では、ATRAC3plus/MP3フォーマットの音楽データを再生できます。
また、本機で再生できるMP3フォーマットは、次の通りです。

– MPEG-1 Audio Layer-3
– ビットレート32 ～ 320kbps（CBR/VBR）
– サンプリング周波数32/44.1/48 kHz

ご注意

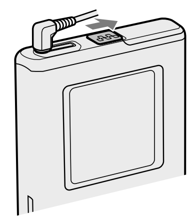
- 本機で再生できないMP3フォーマットの曲も、本機に転送されます。
- 本機で再生できないMP3フォーマットの曲を再生しようとすると、再生が止まります。その場合は、〉を押して別の曲を選び、再生してください。
- 電池で使用しているときに、停止状態のまま約30秒間操作がないと、自動的に表示が消えます。また、曲名などがスクロール中のときは、スクロールが終了してから約30秒後に表示が消えます。
- 再生が始まらないときは、HOLD（ホールド）（誤操作防止）スイッチが解除されているのを確認してください（☞33ページ）。

次のページにつづく⇩

誤操作を防ぐ（HOLD機能）

持ち運び中などに誤って操作ボタンが押され、誤操作するのを防ぎます。HOLD機能が働いているときは、操作しても表示窓に「HOLD中です」と表示され、操作が無効になります。

HOLDスイッチを図の矢印の方向にスライドする。



HOLDを解除するには

HOLDスイッチを図の矢印と反対の方向にスライドする。

再生の基本操作一覧（再生、停止、頭出しなど）

こんなときは	本体操作
続きから再生する	►II を押す。 前回再生を止めたところから始まる。
再生を止める	■を押す。
今聞いている曲を頭出しする	⧼ を1度押す。
前の曲、更に前の曲を頭出しする *	⧼ を繰り返し押す。
次の曲を頭出しする *	⧽ を1度押す。
更に次の曲を頭出しする *	⧽ を繰り返し押す。
早戻しする	⧼ を押したままにする。
早送りする	⧽ を押したままにする。

* プレイモードがトラックシャッフル、またはアイテムシャッフル（☞49ページ）の場合は、動きが異なります。

電源を切るには

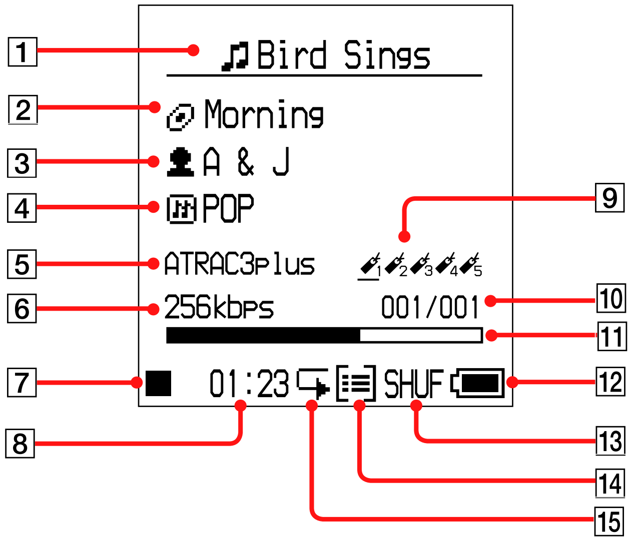
表示が消えるまで■を押したままにする。

電源を入れるには、いずれかのボタンを押す。

次のページにつづく ⇩

表示窓の情報を確認する

再生中に音楽データや再生状態の詳しい情報を確認できます。



1 曲名
2 アルバム名
3 アーティスト名
4 ジャンル名
5 ATRAC3/ATRAC3plus/MP3（☞23ページ）
6 ビットレート*（☞23ページ）
7 再生状態
- ►: 再生
- ■: 停止
- ►►: 早送り
- ◄◄: 早戻し
- I◄◄/►►I: 頭出し

8 再生時間
9 ブックマーク（☞41ページ）
10 曲番
11 再生位置
12 電池残量（☞17ページ）
13 プレイモード（☞47ページ）、サウンド表示（音量調節時のみ、☞54ページ）
14 ユニット表示（☞49ページ）
15 リピート（☞51ページ）

* MP3で可変ビットレート（VBR）の曲の場合、表示されるビットレートはSonicStageで表示されるビットレートと一致しないことがあります。

音楽を選んで聞く
（アーティスト、アルバム、ジャンルなど）

「アーティスト」や「アルバム」などで検索して、聞きたい曲を選べます。
表示される画面について詳しくは、「検索画面のフォルダ構造」（☞37ページ）をご覧ください。

1 SEARCH/MENUを押す。

検索画面が表示されます。



2 ／ で検索モードを選ぶ。

「プレイリスト」、「イニシャルサーチ」以外を選んだ場合、▶IIを押すと再生が始まります。
例えば「アーティスト」を選んだ場合、アーティストの最初のアルバムの1曲目から順に再生し、その後に続く全アーティストのアルバムの全曲を再生します。

3 更に細かく検索するには、を押す。

4 ／ で再生したい項目を選び、▶IIを押して決定する。

選んだ曲や項目（アルバム、アーティストなど）の1曲目から順に再生し、その後に続く全曲を再生します。

次のページにつづく ⇩

検索画面に戻るには

SEARCH/⬬MENUを押す。

メニュー画面に戻るには

SEARCH/⬬MENUを押したままにする。
再び再生画面に戻りたいときは、メニュー画面から「再生画面表示」を選び▶IIを押す。

トラック一覧の画面に戻るには

⌃ または ⌄ を押す。

検索画面で再生を止めるには

■を押す。

高速スクロールするには

検索画面で ⌃ または ⌄ を2回すばやく押し、2回目で押したままにする。
項目数に応じて大きくスクロールします。
また、しばらく⌃ または ⌄ を押したままにすると、スクロールが早くなります。

次のページにつづく ⇩

検索画面のフォルダ構造

検索画面には、「アーティスト」、「アルバム」、「ジャンル」、「トラック」、「新しい曲」、「イニシャルサーチ」、「プレイリスト」の検索モードがあります。ジャンル、アーティスト、アルバム、トラックは以下の図のとおり構成されています。
アーティスト、アルバム、トラック、ジャンル、新しい曲では、►II を押せば、どの検索画面からでも再生が始まります。
新しい曲から選んで聞くときは☞38ページ、イニシャルサーチから選んで聞くときは☞38ページ、プレイリストから選んで聞くときは☞40ページをご覧ください。

検索モード	ジャンル	アーティスト	アルバム	トラック

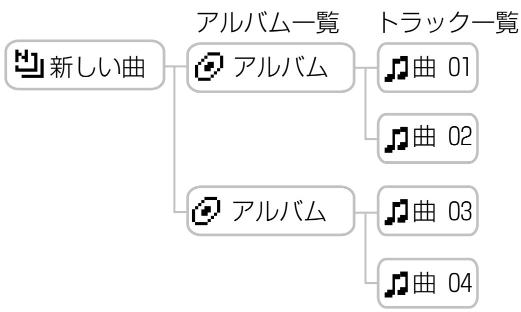


次のページにつづく ⇩

「新しい曲」から曲を選ぶ

新しく転送された（最近5回）アルバムに含まれる曲を選べます。

1. **検索画面（☞35ページの手順2）で「新しい曲」を選び、> を押す。**
   新しい曲一覧が表示されます。新しい曲は以下のとおり構成されています。



2. **∧/∨で再生したい項目を選び、►II を押す。**
   選んだ曲やアルバムの1曲目から再生し、その後に続く全曲を再生します。

曲の最初の文字で曲を選ぶ（イニシャルサーチ）

曲の最初の文字で曲を検索し、聞きたい曲を選べます。
SonicStageの曲情報に入っている曲名で検索します。

1. **SEARCH/━MENUを押す。**
   検索画面が表示されます。



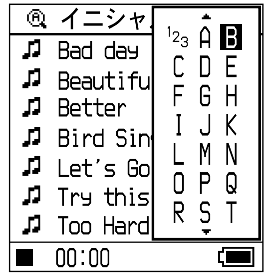
次のページにつづく ⇩

目次

索引

2 **︿/﹀で「イニシャルサーチ」を選び、▶IIを押して決定する。**

トラック一覧が表示され、文字選択画面が表示されます。



3 **︿/﹀/＜/＞で曲の最初の文字を選び、▶IIを押して決定する。**

選んだ文字から始まる最初の曲が表示されます。

該当する曲がない場合は、選んだ文字以降の最初の曲が表示されます。



4 **︿/﹀で再生したい曲を選び、▶IIを押す。**

選んだ曲から順に再生し、その後に続く全曲を再生します。

検索画面に戻るには

SEARCH/━MENUを押す。

メニュー画面に戻るには

SEARCH/━MENUを押したままにする。

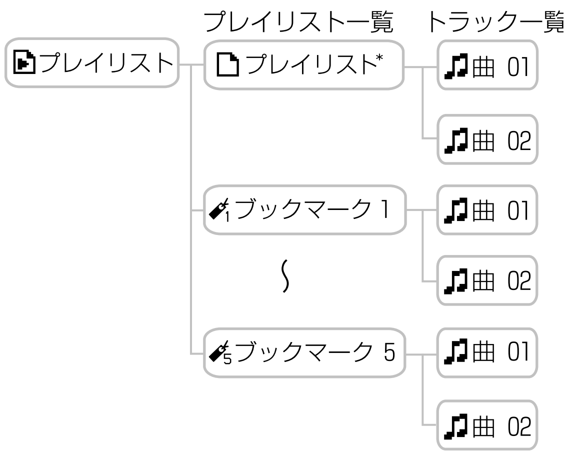
次のページにつづく ⇩

「 プレイリスト」から曲を選ぶ

SonicStageで編集したプレイリストや本機でブックマーク1～5に登録した曲を選べます。ブックマークに曲を登録するには、☞41ページをご覧ください。

❶ **検索画面（☞35ページの手順❷）で「 プレイリスト」を選び、 を押す。**

プレイリスト一覧が表示されます。プレイリストは以下のとおり構成されています。



* プレイリスト一覧で表示されるプレイリスト名は、SonicStageでつけた名称になります。

❷ **／ で再生したい項目を選び、►II を押す。**

選んだプレイリストやブックマークの1曲目から再生が始まります。

本機でブックマークを編集する

プレイリストには、SonicStageのプレイリストと本機のプレイリストがあります。本機のプレイリストには、SonicStageのプレイリストと本機で作成するブックマークが含まれます。プレイリストの階層については、☞40ページをご覧ください。
SonicStageのプレイリストは本機で編集できません。また、本機で作成したブックマークはSonicStageで見たり、編集したりできません。

ブックマークに曲を登録する（ブックマークトラック再生）

好きな曲をブックマークに登録できます。ブックマークに登録した曲は、検索画面で「プレイリスト」を選んで再生します（☞40ページ）。

❶ **ブックマークに登録したい曲の再生中に、⌃を押したままにする。**
ブックマーク登録画面が表示されます。



❷ **⌃/⌄で登録先のブックマークを選び、►IIを押す。**
「ブックマーク 登録しました」とブックマーク数（登録数/登録可能数）が表示され、ブックマークのアイコンが点灯します。

❸ **複数の曲にブックマークを付けたいときは、手順❶と❷を繰り返す。**
1つのブックマークに100曲まで付けられます。

次のページにつづく⇩

ブックマークに登録した曲を再生するには

1 SEARCH/━MENUを押す。
検索画面が表示されます。

2 ∧/∨ で「プレイリスト」を選び、▶II を押す。

3 ∧/∨ で「ブックマーク」を選び、> を押す。
▶II を押すと、選んだブックマークに登録されている最初の曲から再生が始まります。

4 ∧/∨ で聞きたい曲を選び、▶II を押す。
再生中のブックマークのアイコンに下線が表示されます。

ブックマークを消すには

ブックマークを消したい曲を上記の手順で再生中に、∨ を押したままにする。
「ブックマーク 解除しました」と表示され、ブックマークのアイコンが消えます。

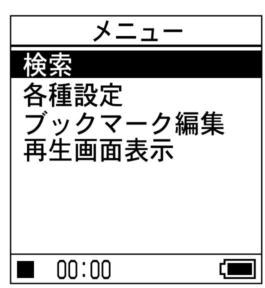
ご注意

- ブックマークに登録できるのは、再生中のときのみです。
- ブックマークを消せるのは、ブックマークに登録した曲を上記の手順で再生している場合のみです。

ブックマークの曲順を変える

ブックマークに登録されている曲の曲順を変えられます。

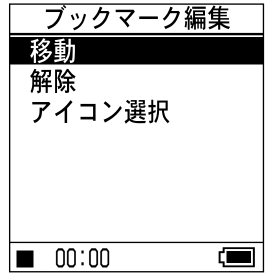
1 SEARCH/━MENUを押したままにする。
メニュー画面が表示されます。



次のページにつづく ⇩

❷ ∧/∨ で「ブックマーク編集」を選び、▶II または 〉を押して決定する。

ブックマーク編集画面が表示されます。



❸ ∧/∨ で「移動」を選び、▶II または 〉を押して決定する。

ブックマーク一覧が表示されます。



❹ ∧/∨ で編集したいブックマークを選び、▶II または 〉を押して決定する。

選んだブックマークのトラック一覧が表示されます。



❺ ∧/∨ で移動する曲を選び、▶II を押して決定する。

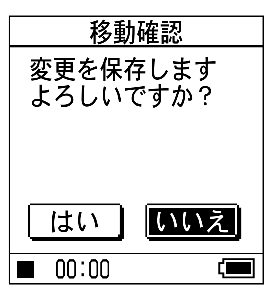
選択した曲が点滅表示します。

❻ ∧/∨ で移動先を選び、▶II を押して決定する。

手順❺で選んだ曲が、手順❻で選んだ位置に移動します。複数の曲を移動させる場合は、手順❺と手順❻を繰り返します。

❼ 〉または■を押す。

確認画面が表示されます。



次のページにつづく ⇩

目次
索引

8 ＜ / ＞ で「はい」を選び、▶II を押して決定する。

表示窓に「変更を保存しました」と表示されます。

「いいえ」を選ぶと編集を中止し、ブックマーク編集画面に戻ります。

ブックマークの曲を解除する

ブックマークに登録されている曲をリスト一覧から外せます。

1 「ブックマークの曲順を変える」（☞42 ページ）の手順 3 で「解除」を選び、▶II または ＞ を押して決定する。

解除選択画面が表示されます。



2 ︿/﹀ で「♫ トラック」または「ブックマーク」を選び、▶II または ＞ を押して決定する。

ブックマーク一覧が表示されます。



3 ︿/﹀ でブックマークを選び、▶II または ＞ を押して決定する。

手順 2 で「トラック」を選ぶと、トラック一覧が表示されます。

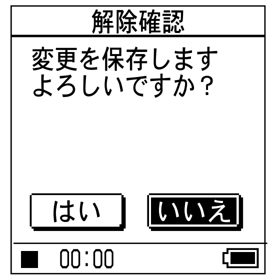
手順 2 で「ブックマーク」を選んだ場合は、手順 6 へ進みます。



次のページにつづく ⇩

④ ︿/﹀ で解除する曲を選び、►II を押して決定する。
選択した曲がトラック一覧から消えます。
複数の曲を解除する場合は、この手順を繰り返します。

⑤ 〉 または■を押す。
確認画面が表示されます。



⑥ 〈 / 〉 で「はい」を選び、►II を押して決定する。
表示窓に「変更を保存しました」と表示され、ブックマーク編集画面に戻ります。

手順②で「ブックマーク」を選んだときは
「登録されている曲を全て解除します よろしいですか？」と表示されるので、確認後「はい」を選ぶ。
「いいえ」を選ぶと編集を中止し、ブックマーク編集画面に戻ります。

高速スクロールするには

「ブックマークの曲順を変える」（☞42ページ）と「ブックマークの曲を解除する」（☞44ページ）のトラック一覧の画面で、︿ または ﹀ を2回すばやく押し、2回目で押したままにする。
項目数に応じて大きくスクロールします。
また、しばらく︿ または ﹀ を押したままにすると、スクロールが早くなります。

ご注意
ブックマークに登録されている曲を再生中または一時停止中は、その曲が登録されているブックマークは編集できません。

次のページにつづく ⇩

ブックマークのアイコンを変更する

ブックマークに登録した曲に付くアイコンを選べます。ブックマーク1～5に別のアイコンを付けると便利です。

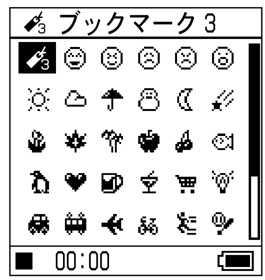
❶「ブックマーク内の曲順を変える」(☞42ページ)の手順❸で「アイコン選択」を選び、►IIまたは 〉を押して決定する。

ブックマーク選択画面が表示されます。



❷ ︿/﹀ でアイコンを変更したいブックマークを選び、►IIを押して決定する。

アイコン選択画面が表示されます。



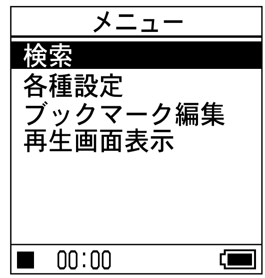
❸ ︿/﹀/〈/〉でアイコンを選択し、►IIを押して決定する。

選んだアイコンがブックマークとして表示されます。

再生方法（プレイモード）を変えて聞く

再生方法（プレイモード）を変えて、好きな曲だけを聞いたり、曲を順不同に聞けます。
再生方法や再生範囲について詳しくは、「プレイモード項目一覧」をご覧ください。
また、シャッフル再生したり（☞49、51ページ）、選んだ再生方法を繰り返して聞けます（リピート再生、☞51ページ）。

1 SEARCH/●MENUを押したままにする。
メニュー画面が表示されます。



2 ︿/﹀で「各種設定」を選び、▶IIを押して決定する。
各種設定画面が表示されます。



3 ︿/﹀で「プレイモード」を選び、▶IIを押して決定する。
プレイモード一覧が表示されます。



4 ︿/﹀で再生方法を選び、▶IIを押して決定する。
初期設定は「通常再生」です。

次のページにつづく ⇩

⑤ SEARCH/⬬MENUを押して検索画面を表示し、再生範囲を選ぶ（☞35ページ）。

再生範囲を限定していくときは、⪢を押して更に細かく選びます。

⑥ ►II を押す。

選んだプレイモードで再生が始まります。

再生方法の変更を途中でやめるには

■を押すと、各種設定画面に戻る。

通常再生に戻るには

手順④で、「通常再生」を選ぶ。

メニュー画面に戻るには

SEARCH/⬬MENUを押したままにする。

次のページにつづく ⇩

プレイモード項目一覧

本体 / 本体のアイコン	説明
通常再生/表示なし	選んだ曲の後に続くすべての曲を、順に1回再生します。 曲以外（アルバムやアーティストなど）を選んだときは、最初の曲やアルバムの1曲目から、順に1回再生します。
1曲再生/1	選んだ曲だけを、1回再生します。 曲以外（アルバムやアーティストなど）を選んだときは、最初の曲だけを、1回再生します。
トラックシャッフル/SHUF	すべての曲を、順不同に1回再生します（全曲シャッフル）。
アイテムシャッフル/SHUF	すべてのアルバムを、順不同に1回再生します（アルバムシャッフル）。アルバム内の曲は順に再生します。「ユニット」が「ユニットオン」に設定されているときは（☞49ページ）、ユニットシャッフル（☞51ページ）になります。

選んだ再生範囲の曲を聞く（ユニット再生）

1. **「再生方法（プレイモード）を変えて再生する」（☞47ページ）の手順3で「ユニット」を選び、▶IIを押して決定する。**
   ユニット画面が表示されます。



2. **⌃/⌄で「ユニットオン」を選び、▶IIを押して決定する。**

次のページにつづく ⇩

3 SEARCH/━MENUを押して検索画面を表示し、再生範囲を選ぶ（☞35ページ）。

4 **▶II を押す。**

ユニット内の全曲を、順に再生します。

ユニット（再生範囲）とは

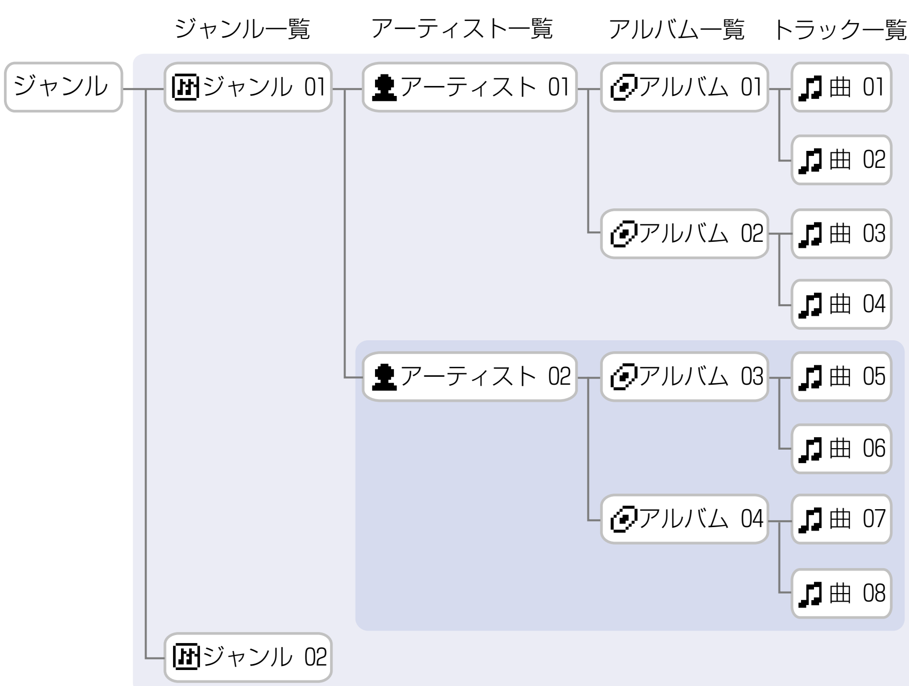
再生を始めたときに選んだ項目に属しているすべての項目（アーティスト、アルバム、曲など）です。

例：「ジャンル01」を選んで再生を始めた場合

曲01から曲08までがユニットとなります。

「アーティスト02」を選んで再生を始めた場合

曲05から曲08までがユニットとなります。



ご注意

- 「ユニット」を「ユニットオン」から「ユニットオフ」、または「ユニットオフ」から「ユニットオン」に切り換えると、ユニットは全曲に再設定されます。
- 手順 3 で再生範囲に曲を選ぶと、選んだ曲が含まれているアルバムがユニットとなります。

次のページにつづく ⇩

ユニット内トラックシャッフル（ユニットオン選択時のトラックシャフル）について

各種設定画面の「ユニット」で「ユニットオン」を選ぶと、
再生を始めた位置のユニットに属するすべての曲を順不同に再生します。

ユニットシャッフル（ユニットオン選択時のアイテムシャッフル）について

各種設定画面の「ユニット」で「ユニットオン」を選ぶと、ユニット内の一番上の階層の項目を順不同に再生します。項目内の曲は曲順で再生されます。

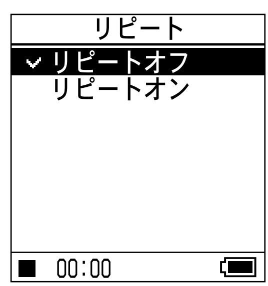
ご注意

- 検索画面から「♫ トラック」を選んでシャッフルモードにすると、「ユニットオン/オフ」、「トラック/アイテムシャッフル」に関係なくすべての曲を順不同に再生します。
- 検索画面の「 プレイリスト」から「 プレイリスト」または「 ブックマーク」を選んでシャッフルモードにすると、「ユニットオン/オフ」、「トラック/アイテムシャッフル」に関係なく、プレイリストまたはブックマーク内のすべての曲を順不同に再生します。

繰り返し聞く（リピート再生）

☞49ページで選んだ再生方法を繰り返して再生します。

❶ **「再生方法（プレイモード）を変えて再生する」（☞47ページ）の手順❸で「リピート」を選び、►II を押して決定する。**
リピート画面が表示されます。



❷ **⌃/⌄ で「リピートオン」を選び、►II を押して決定する。**



が表示される。

次のページにつづく ⇩

3 SEARCH/⬬MENUを押して検索画面を表示し、再生範囲を選ぶ（☞35ページ）。

4 **▶IIを押す。**
選んだ再生方法が繰り返されます。

再生方法の変更を途中でやめるには

■を押すと、各種設定画面に戻る。

リピート再生をやめるには

手順2のリピート画面で「リピートオフ」を選ぶ。

検索画面に戻るには

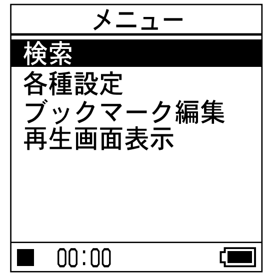
SEARCH/⬬MENUを押す。

音質や表示の設定を変える

設定項目と内容について詳しくは、☞54ページをご覧ください。

❶ SEARCH/●MENUを押したままにする。

メニュー画面が表示されます。



❷ ▲/▼で「各種設定」を選び、►IIを押して決定する。

各種設定画面が表示されます。



❸ ▲/▼で設定内容を選び、►IIを押して決定する。

音質を変えるときは（サウンド設定）

手順❸の後、▲/▼で設定内容（☞54ページ）を選び、►IIを押して決定する。

前の画面に戻るには

◁を押す。

操作を途中でやめるには

■を押すと、各種設定画面に戻る。

メニュー画面に戻るには

SEARCH/●MENUを押したままにする。

次のページにつづく ⇩

目次
索引

音質や表示の設定項目一覧

項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）		
サウンド設定	●サウンドオフ		通常の音質になります。
	VPTアコースティックエンジン[1)2)]	スタジオ（VS）	録音スタジオで聞いているような音質になります。
		ライブ（VL）	ライブハウスで聞いているような音質になります。
		クラブ（VC）	クラブで聞いているような音質になります。
		アリーナ（VA）	アリーナ会場で聞いているような音質になります。
	6バンドイコライザ[1)2)]	ヘビー（SH）	低域と高域を最も強調した迫力のある音質になります。
		ポップス（SP）	中域を強調したヴォーカルなどに適した音質になります。
		ジャズ（SJ）	低域と高域を強調したメリハリのある音質になります。
		ユニーク（SU）	低域と高域を強調し中域もある程度強調した音質になります。
		カスタム1（S1）	自分で設定した音質になります。音域ごとに更に細かく設定できます（設定方法は☞57ページ）。
		カスタム2（S2）	
	デジタルサウンドプリセット[2)]	カスタム3（S3）	高音や低音を強調して、あらかじめお好みの音質を2種類設定できます（設定方法は☞58ページ）。
		カスタム4（S4）	

1）ATRAC3plusフォーマットの曲を再生している時に設定できます。MP3フォーマットの曲を再生している時は、音質は変わりません。

2）設定内容が表示窓に（ ）内の文字で表示されます（☞34ページ）。

次のページにつづく ⇩

項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）	
AVLS[1)]（快適音量）	●AVLS オフ	音量の制限無しで、操作に合わせて音量が変わります。
	AVLS オン	音もれや耳への圧迫感軽減のため、一定以上に音量が上がりません。
操作確認音	●操作音オン	操作時の確認音（ピッなど）が鳴ります。
	操作音オフ	確認音は鳴りません。
オーディオ出力（外部出力音声）	●ヘッドホン	付属のヘッドホンを接続しているときに選びます。
	ラインアウト	スピーカーなどの他機を音声コードで接続しているときに選びます（☞61ページ）。
バックライト設定[2)]	●10秒	操作直後に選んだ時間点灯します。また、表示をスクロールしている間点灯します。
	30秒	
	常時消灯	消灯し、電池の消耗を極力抑えます。
コントラスト調整[3)]	●中央	適度な明るさで表示します。
	－～＋	－に設定すると薄く、＋に設定すると濃く表示します。どの画面でも、SEARCH/MENUを押しながら を押すと「中央」に戻ります。
画面反転表示	●ネガティブ	文字やアイコンは白、背景色は黒で表示します。
	ポジティブ	文字やアイコンは黒、背景色は白で表示します。

1) Automatic（オートマチック） Volume（ボリューム） Limiter（リミッター） System（システム）の略です。
2) バックライトが消灯しているときは、VOL+/VOL−を押すと点灯します。
3) SEARCH/MENUを押しながら を押すと、工場出荷時の設定に戻ります。

次のページにつづく ⇩

項目	設定内容（●：お買い上げ時の設定）	
画面表示向き	●縦	画面表示方向が縦に固定されます。
	自動	Gセンサー[1]により表示向きを自動調整します。画面の向きは、本機に電源を入れたときの向きに設定されます。
	右	画面表示方向が左に固定され、右手で操作できるようにします。
	左	画面表示方向が右に固定され、左手で操作できるようにします。
表示言語	●日本語	日本語で表示します。
	English	英語で表示します。
	Français	フランス語で表示します。
	Deutsch	ドイツ語で表示します。
	Italiano	イタリア語で表示します。
	Español	スペイン語で表示します。
システム初期化[2]	工場出荷時設定	お買い上げ時の設定に戻します（☞63ページ）。
	ハードディスク初期化	内蔵ハードディスクを初期化します。初期化すると、保存していたデータはすべて消去されます（☞65ページ）。
	ファームウェア更新	本機のファームウェアを更新できます。[3]

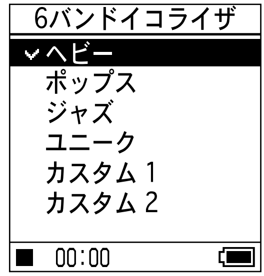
1) Gセンサーとは、本体の向きを感知する機能です。
2) 再生中または再生一時停止中には設定できません。
3) 現在この機能は使えません。ご案内があるまでお待ちください。

次のページにつづく ⇩

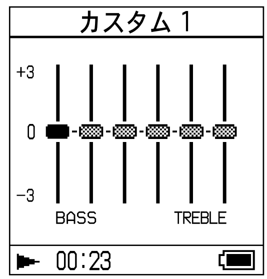
好みの音質に細かく設定する（6バンドイコライザ – カスタム）

表示窓を見ながら、音域ごとに更に細かく音質を調節できます。

❶「音質や表示の設定を変える（☞53ページ）の手順❸で「サウンド設定」を選んだあとに、「6バンドイコライザ」を選び、▶II を押して決定する。

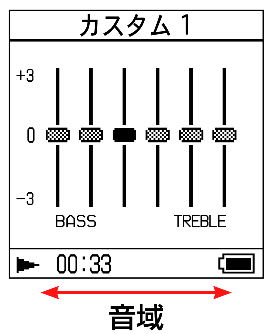


❷ ︿/﹀ で「カスタム 1」または「カスタム 2」を選び、▶II を押して決定する。



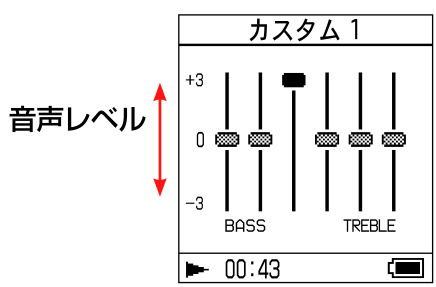
❸ ＜/＞ で音域を選ぶ。

6つの音域があります。



❹ ︿/﹀ で音声レベルを選ぶ。

7段階の中から選びます。



次のページにつづく ⇩

❺ **手順❸と❹を繰り返して残りの音域の設定を行う。**

❻ **►IIを押して決定する。**

6バンドイコライザ設定画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

■を押すと、6バンドイコライザ設定画面に戻る。

メニュー画面に戻るには

SEARCH/●MENUを押したままにする。

ご注意

- 設定によって、音量を大きくしたときに音が歪む場合は、音量を下げてください。
- 「カスタム1」または「カスタム2」を選んだときとそれ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。
- MP3フォーマットの曲を再生しているときは、音質は変わりません。

高音や低音を強調する（デジタルサウンドプリセット）

高音や低音を強調して、あらかじめお好みの音質を設定できます。表示窓を見ながら音質を調節し、記憶させることができます。

❶ **「音質や表示の設定を変える（☞53ページ）の手順❸で「サウンド設定」を選んだあとに、「デジタルサウンドプリセット」を選び、►IIを押して決定する。**

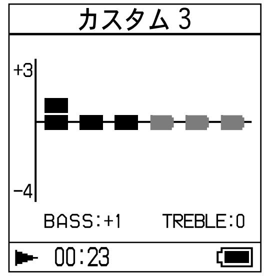


次のページにつづく ⇩

❷ ⌃/⌄ で「カスタム 3」または「カスタム 4」を選び、▶II を押して決定する。

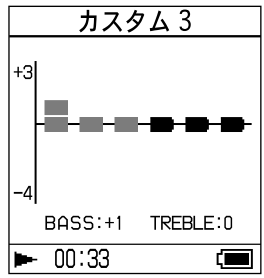
お買い上げ時の設定

音質	カスタム 3（S3）	カスタム 4（S4）	サウンドオフ（通常の音質）
Bass（低音）	＋1	＋3	±0
Treble（高音）	±0	±0	±0



❸ ‹ / › で「Treble」または「Bass」を選ぶ。

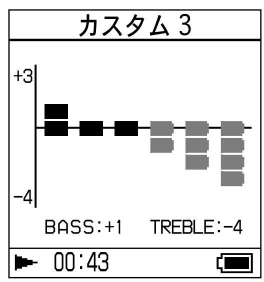
Treble（高音）とBass（低音）の音質を調整できます。



❹ ⌃/⌄ で音声レベルを選ぶ。

8段階の中から選びます。

音質	数値の設定
Bass（低音）	-4 ～＋3
Treble（高音）	-4 ～＋3



❹ ▶II を押して決定する。

デジタルサウンドプリセット設定画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

■を押すと、デジタルサウンドプリセット設定画面に戻る。

メニュー画面に戻るには

SEARCH/⬬MENUを押したままにする。

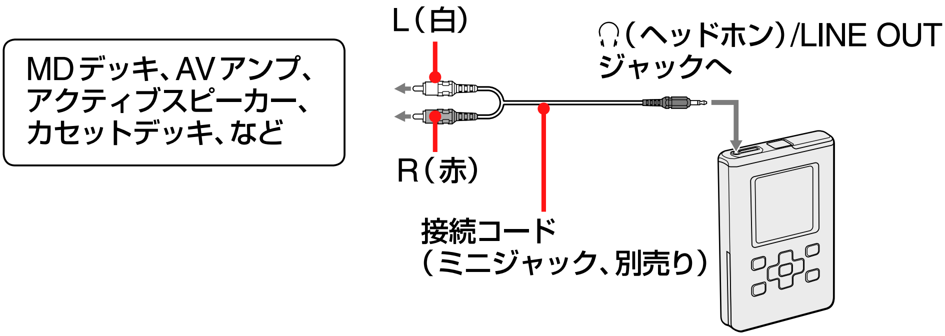
次のページにつづく ⇩

ご注意

- 設定するTreble（高音）とBass（低音）の値は、画面の左右両端に表示されます。中央の4つの値は、両端の値に連動して自動的に設定されます。選んで設定することはできません。
- 設定によって、音量を大きくしたときに音が歪む場合は、音量を下げてください。
- 「カスタム 3」または「カスタム 4」を選んだときと、それ以外の音質で音量が変わったように感じる場合は、音量を調節してください。

他の機器に接続する

他のステレオ機器に接続して曲を聞いたり、本機で再生した曲をMDやテープに録音できます。接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。接続する機器の電源を必ず切ってから、以下のように接続、設定してください。



接続した機器に音声が出力されるように、各種設定画面で「オーディオ出力」の設定を必ず変更してください。「オーディオ出力」の設定は以下のとおりです。設定方法は、☞53ページをご覧ください。

接続機器	設定
ヘッドホン	ヘッドホン
接続コードで接続した機器	ラインアウト

他機に接続したときは、「ラインアウト」に設定します。
「ラインアウト」に設定すると、音量調節と「サウンド」の設定はできないだけでなく、働きません。

ご注意

- 付属のヘッドホンを接続しているときは、（ヘッドホン）/LINE OUT出力の設定「オーディオ出力」を「ラインアウト」に切り換えないでください。音量調節ができなくなり、ひずんだ大きな音が出ます。
- 曲を聞く前に、接続した機器の音量を下げてください。音がひずんだり、思わぬ大音量が出てスピーカーが破損するおそれがあります。

音楽以外のデータを保存する

Windowsのエクスプローラを使って、パソコンのハードディスク内のデータを、本機の内蔵ハードディスクに転送できます。
Windowsのエクスプローラ上にリムーバブルディスクとして、本機の内蔵ハードディスクが表示されます。

ご注意

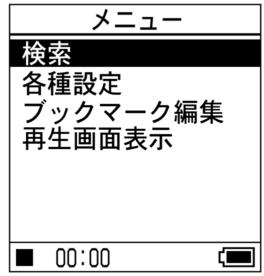
- Windowsのエクスプローラを使って本機内蔵ハードディスクを操作している間、SonicStageは使わないでください。
- エクスプローラを使ってWAVやMP3などのファイルを転送しても本機では再生できません。SonicStageを使って、転送してください。
- データへのアクセス中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。データを転送中にUSB接続ケーブルを抜くと、転送中のデータが壊れることがあります。
- パソコンで本機のハードディスクを初期化しないでください。

お買い上げ時の設定に戻す

設定項目の内容をお買い上げ時の設定に戻します。

1 停止中に、SEARCH/●MENUを押したままにする。

メニュー画面が表示されます。



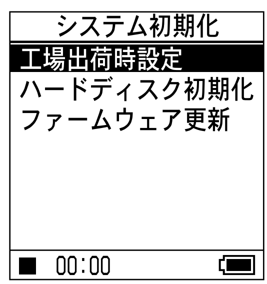
2 ∧/∨ で「各種設定」を選び、►II を押して決定する。

各種設定画面が表示されます。



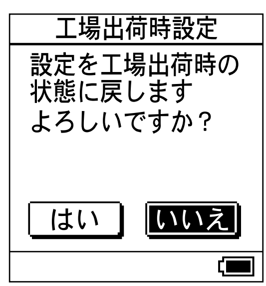
3 ∧/∨ で「システム初期化」を選び、►II を押して決定する。

システム初期化画面が表示されます。



4 ∧/∨ で「工場出荷時設定」を選び、►II を押して決定する。

工場出荷時設定画面が表示されます。



5 < / > で「はい」を選び、►II を押して決定する。

「設定を工場出荷時の状態に戻しました」と表示され、システム初期化画面に戻ります。

次のページにつづく ⇩

操作を途中でやめるには

■を押す。または、手順❺で「いいえ」を選び、►II を押すと、システム初期化画面に戻る。

ご注意

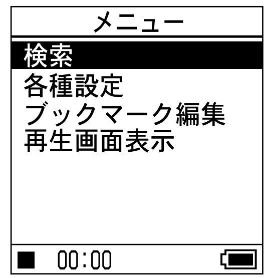
再生中は、お買い上げ時の設定に戻せません。

初期化する

内蔵ハードディスクを初期化できます。初期化すると、記録された音楽やデータはすべて消去されます。初期化する前に内容を確認してください。

1 停止中に、SEARCH/•MENUを押したままにする。

メニュー画面が表示されます。



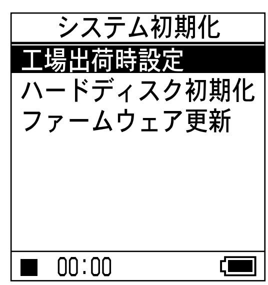
2 ︿/﹀で「各種設定」を選び、►IIを押して決定する。

各種設定画面が表示されます。



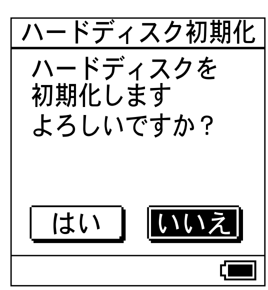
3 ︿/﹀で「システム初期化」を選び、►IIを押して決定する。

システム初期化画面が表示されます。



4 ︿/﹀で「ハードディスク初期化」を選び、►IIを押して決定する。

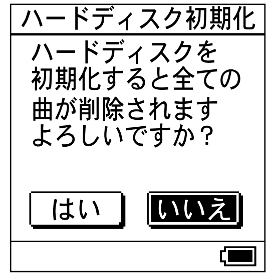
ハードディスク初期化画面が表示されます。



次のページにつづく ⇩

❺ 〈 / 〉で「はい」を選び、►II を押して決定する。

確認画面が表示されます。



❻ 〈 / 〉で「はい」を選び、►II を押して決定する。

「ハードディスクを初期化しました」と表示され、システム初期化画面に戻ります。

操作を途中でやめるには

■を押す。または、手順❻で「いいえ」を選び、►II を押すと、システム初期化画面に戻る。

ご注意

- パソコンで本機のハードディスクを初期化しないでください。
- 再生中は初期化できません。
- 初期化すると、すべてのファイルがすべて削除されます。
- 本機を転送元のパソコンに接続すると、初期化により消した曲は、SonicStageで曲を戻したとみなされ、残りの転送回数が増えます。

SonicStageをアンインストールする

インストールした付属のソフトウェアをパソコンから削除したいときは、以下の手順に従ってください。

1 **「スタート」メニューから「コントロールパネル」*をクリックする。**

* Windows ME/2000/98SEでは「設定」→「コントロールパネル」

2 **「プログラムの追加と削除」*をダブルクリックする。**

* Windows ME/2000/98SEでは「アプリケーションの追加と削除」

3 **一覧から「SonicStage 3.1」を選び、「変更と削除」*をクリックする。**

メッセージに従って再起動を行う。再起動が完了すると、アンインストールは終了です。

* Windows ME/98SEでは「追加と削除」

ご注意

SonicStage 3.1をインストールすると、「OpenMG Secure Module 4.1」もインストールされます。「OpenMG Secure Module 4.1」は、他のソフトウェアでも使用していることがありますので削除しないでください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前に、あわてずに以下の手順にしたがってください。

1 充電池を取り出して、再び入れる。
2「故障かな？と思ったら」の各項目で調べる。
3 SonicStageを使用しているときは、SonicStageのヘルプで調べる。
4「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページ http://www.sony.co.jp/support-pa/で調べる。
5 手順1 ～ 4を確認しても問題が解決しないときは、お客様ご相談センター（☞89ページ）またはお買い上げ店に相談する。

電源

症状	原因/処置
電池の持続時間が短い。	→ 5 ℃以下の環境で使用している。電池の特性によるもので故障ではありません。 → 長期間使用していなかった。何回か充放電を行うと、電池性能が回復する。 → 充電池が寿命の場合がある。新しい充電地と交換する。 → 充電時間が短い。 が表示されるまで、充電をする。

次のページにつづく ⇩

音声

症状	原因 / 処置
再生音が出ない。 雑音が入る。	→ 音量がゼロになっている。音量を上げる（☞32ページ）。 → ヘッドホンがしっかり差し込まれていない。 🎧（ヘッドホン）/LINE OUTジャックにしっかり差し込む（☞31ページ）。 → ヘッドホンのプラグが汚れている。乾いた柔らかい布などでプラグの汚れを拭く。 → 本体に曲が入っていない。
再生音が大きくならない。	→ 「AVLS」が「AVLS オン」に設定されている。 「AVLS」を「AVLS オフ」に設定する（☞55ページ）。
右チャンネルから音が出ない。	→ ヘッドホンがしっかり差し込まれていない。 🎧（ヘッドホン）/LINE OUTジャックにしっかり差し込む（☞31ページ）。
音量を調節できない。	→ 「オーディオ出力」が「ラインアウト」に設定されている。接続した機器側で音量を調節する。 または「オーディオ出力を「ヘッドホン」に設定する（☞55ページ）。
接続したステレオ機器で、音がひずんだり雑音が聞こえる。	→ 「オーディオ出力」が「ヘッドホン」に設定されている。「オーディオ出力」を「ラインアウト」に設定する（☞55ページ）。

次のページにつづく ⇩

操作/再生

症状	原因/処置
ボタン操作に反応しない。	➔ HOLDになっている（誤操作防止状態）。HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドして、HOLDを解除する（☞33ページ）。 ➔ 結露（本機を寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ直後などに内部に水滴が付着）している。そのまま約2、3時間おく。 ➔ 電池の残量が少ない。充電をする（☞15ページ）。
再生していたら急に音が止まった。	➔ 電池が消耗している。充電をする（☞15ページ）。 ➔ 本機で再生できない音楽データを、再生しようとしている（☞32ページ）。 ⪢ を押して別の曲を選び、再生する。 ➔ 長時間振動を与え続けた。振動をなくし、再度再生する。
表示窓のバックライトがつかない。	➔「バックライト設定」が「常時消灯」に設定されている。「バックライト設定」を「10秒」、「30秒」のいずれかに設定する（☞55ページ）。
タイトル欄に「□」と表示される。	➔ 本機で表示できない文字が使用されている。付属のSonicStageソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換える。
表示が消える。	➔ 停止状態のまま、電池使用時に約30秒間操作がないと、自動的に表示が消える。また、曲名などがスクロール中のときは、スクロールが終了してから、電池使用時は約30秒後に表示が消える。更に、■を押したままにすると表示が消える。いずれの場合も、操作ボタンを押すと再び表示される。

次のページにつづく ⇩

パソコンとの接続/SonicStage

症状	原因/処置
インストールできない。	➔ 対応のOS以外のOSを使っている（☞18ページ）。 ➔ すべてのWindowsのプログラムを終了していない。他のプログラムが起動した状態でインストールを行うと、不具合が生じることがある。特にウィルスチェックソフトは負担が大きいため、必ず終了する。 ➔ ハードディスクの空き容量が足りない。ハードディスクの空き容量は200MB以上必要のため、不要なファイルなどを削除する。
インストール作業が止まっているように見える。	➔ 警告などのメッセージダイアログが、インストール画面の後ろに隠れている。「Alt」キーを押しながら「Tab」キーを押し、メッセージが表示されたら画面に従って操作する。メッセージが表示されないときは、インストール作業中のため、そのまま待つ。
画面上のバーが動いていない。または、CDドライブやハードディスクのアクセスランプが数分間点灯していない。	➔ インストール作業は正常に行われているため、そのまま待つ。お使いのパソコン、CDドライブによっては、インストール終了まで30分以上かかる場合がある。
SonicStageが起動しない。	➔ WindowsのOSをバージョンアップするなど、パソコン環境を変更した。「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページで調べる。

次のページにつづく ⇩

USB接続ケーブルでパソコンに接続しても、本機の表示窓に「PC 接続中」と表示されない。	→ SonicStageの認証を行うために、時間がかかる場合がある。しばらく待つ。 → パソコン上で他のアプリケーションが起動している。しばらくしてから、USB接続ケーブルを接続し直す。それでも解決しない場合は、ケーブルを抜いてからパソコンを再起動する。 → USB接続ケーブルがきちんと差し込まれていない。USB接続ケーブルをいったん抜いて、差し直す。 → USBハブを使用している。動作保証外のため、パソコンUSB端子に接続する。 → ソフトウェアのインストールに失敗している。本機とパソコンの接続を外し、付属のCD-ROMを使ってもう1度ソフトウェアをインストールする（☞19ページ）。登録した音楽データは引き継がれる。 → 電池が消耗しきっている。ACパワーアダプターを接続して充電池を充電する。
パソコンに接続したとき、本機がパソコンに認識されない。	→ USB接続ケーブルがきちんと差し込まれていない。USB接続ケーブルをいったん抜いて、差し直す。 → USBハブを使用している。動作保証外のため、パソコンUSB端子に接続する。 → 本機用のドライバをインストールしていない。付属のCD-ROMを使って、もう1度SonicStageをパソコンにインストールすると、ドライバもインストールされる（☞19ページ）。 → ソフトウェアのインストールに失敗している。本機とパソコンの接続を外し、付属のCD-ROMを使ってもう1度ソフトウェアをインストールする（☞19ページ）。登録した音楽データは引き継がれる。

次のページにつづく ⇩

目次
索引
困ったときは

転送できない。	➔ USB接続ケーブルがきちんと差し込まれていない。USB接続ケーブルをいったん抜いて、差し直す。 ➔ 本体内の空き容量が不足している。聞かなくなった曲をパソコンに戻して（☞29ページ）、空き容量を増やす。 ➔ 本機に65,535曲を超える曲数、または8,187を超えるプレイリストを転送しようとしている。または1プレイリストにつき999曲を超える曲数を転送しようとしている。 ➔ 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により本機に転送できないことがある。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者に問い合わせる。 ➔ ソフトウェアのインストールに失敗している。本機とパソコンの接続を外し、付属のCD-ROMを使ってもう1度ソフトウェアをインストールする（☞19ページ）。登録した音楽データは引き継がれる。
転送できる曲数が少ない。 （録音できる時間が短い。）	➔ 本体内の空き容量が不足している。聞かなくなった曲をパソコンに戻して（☞29ページ）、空き容量を増やす。 ➔ 本機に音楽以外のデータが入っていると、転送できる曲数が減る。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、本体内の空き容量を増やす。
パソコンに戻せない。	➔ 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている。転送元のパソコン以外には、曲を戻せない。 ➔ 転送元のパソコンで曲を削除した。パソコン側の転送元の曲を削除した場合は、曲を戻せない。

次のページにつづく ⇩

本機をパソコンに接続すると勝手に曲の転送回数が戻ることがある。	➔ SonicStageソフトウェアをインストールした他のパソコンで本機の曲を削除した場合、自分のパソコンに本機を接続すると、SonicStageは削除された曲を戻したものと自動的にみなし、残りの転送回数を元に戻す。
パソコン接続中の動作が安定しない。	➔ USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している。動作保証外のため、付属のUSB接続ケーブルのみで直接パソコンと接続する。
パソコンと接続中にパソコンの画面に「機器・メディアの認証処理に失敗しました。」と表示される。	➔ パソコンと本機が正しく接続されていない。SonicStageを終了し、USB接続ケーブルでの接続を確認した後、再びSonicStageを起動する。

次のページにつづく ⇩

その他

症状	原因/処置
操作時の確認音が鳴らない。	➔「操作確認音」が「操作音オフ」に設定されている。「操作確認音」を「操作音オン」に設定する(☞55ページ)。
本体が温かくなる。	➔ 充電中または充電直後である。急速充電のため、充電中および充電直後は本体が一時的に温かくなることがある。また、大量の曲を転送した場合も、本体が一時的に温かくなることがある。しばらく放置する。
本体から「キーン」という音がする。または、本体が震えることがある。	➔ 本体内蔵ハードディスクの動作時の音または振動で、故障ではありません。

SonicStageのヘルプを見る

SonicStageのヘルプでは、SonicStageの使いかたについて詳しく説明しています。調べたいことがらを「音楽を取り込む」、「音楽を転送する」といった操作の目的から探したり、あらかじめ設定されている「キーワード」から探したりできます。
また、ヘルプ内の説明を思いついた単語で「検索」することもできます。

SonicStageを起動した状態で、「ヘルプ」から「SonicStageのヘルプ」をクリックする。
ヘルプが表示されます。
ヘルプでは、本機を「ATRAC Audio Device」として説明しています。

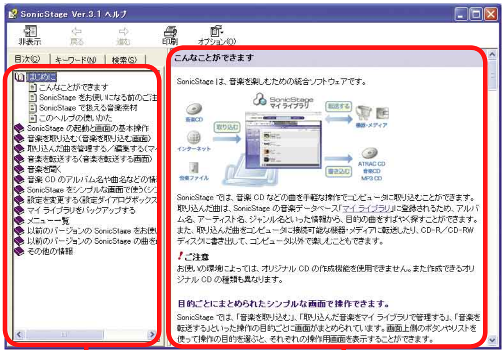

「SonicStageのヘルプ」

ご注意

- ヘルプでは、ネットワークウォークマンやMDウォークマンを総称して、「機器・メディア」と呼んでいます。
- 音楽配信サイトを利用するときは、プロバイダーが推奨する使用環境などの指示に従ってください。

次のページにつづく ⇩

ヘルプの使いかたを見るには



1 左フレームの「 はじめに」をダブルクリックする。

2 「 このヘルプの使いかた」をクリックする。
右フレームに説明が表示されます。必要に応じてスクロールしてください。下線付きの用語をクリックすると、その用語の説明にジャンプします。

思いついた用語を入力して調べるには



1 「検索」をクリックする。

2 キーワード入力欄に調べたい用語を入力する。

3 「検索開始」をクリックする。
入力した用語が含まれる項目の一覧が表示されます。

4 表示された項目から、内容を見たい項目をクリックする。

5 「表示」をクリックする。選んだ項目の説明が表示されます。

メッセージ一覧

本体表示窓にエラー表示が出たら、下の表に従ってチェックしてください。

表示	意味	処置
解除できません エラーです	エラーが発生したため、ブックマークが解除できない。	→ もう一度解除を行う。
グループ数制限を超えました	グループ（アルバムやアーティスト）の数が制限数（8,192）を超えた。	→ 一覧画面（曲一覧を除く）での合計項目数が8,192を超えている。不要な音楽データをSonicStageのマイライブラリに戻す（☞29ページ）。
キャンセルします	設定や操作を中止した。	—
更新できません 電池残量が足りません	ファームウェアー更新時に、電池残量が充分でなかった。	→ 充電池を充分に充電してから更新を行ってください。
再生中のブックマークは編集できません	再生または一時停止中のブックマークの編集をしようとした。	→ 再生または一時停止中のブックマークの編集はできません。
再生できません 再生可能期間外です	● 再生期限開始前に再生しようとした。 ● 再生期限が切れた後に再生しようとした。	→ 再生期限外の曲は再生できない。
再生できません トラックエラーです	音楽データが壊れている。	→ 本機に音楽データを転送し直す（☞26ページ）。
再生できません PC に接続して下さい	本機の時刻設定が無効になっている。	→ パソコンに接続する（☞26ページ）。
再生を停止しないと操作できません	再生中に「各種設定」の「システム初期化」を選んだ。	→ 再生を停止してから、「システム初期化」を選び直す。

次のページにつづく ⇩

システムエラーです <No.*>** (*** には番号が表示されます。)	システムエラーが発生した。	→ エラー番号をメモして、お客様ご相談センター(☞89ページ)またはお買い上げ店に相談する。
システムファイルに不整合があります	システムファイルに不整合がある。	→ ハードディスクを初期化し(☞65ページ)、本機に音楽データを転送しなおす(☞26ページ)。
全てのブックマークに登録済みです	ブックマーク1～5の全てに登録されている曲を、再びいずれかのブックマークに登録しようとした。	→ ブックマークは1曲につき、ブックマーク1～5に1回のみ登録できます。
停止中は操作できません	停止中にブックマークを設定しようとした。	→ 再生中に設定する(☞42ページ)。
データベースがありません	パソコン接続終了時に本機に曲や必要な情報がない。	→ 再度パソコンに接続し、はずす。 → 本機に音楽データを転送する(☞26ページ)。
データベースの作成に失敗しました	本機でのデータベースの更新に失敗した。	→ しばらくしてから操作する。データベースの再構築が行われます。
電池が入っていません	● 充電池が本機に入っていいない状態で、ACパワーアダプターを接続し、操作を行った。 ● 本機をパソコンに接続中に充電池を取り出した。	→ ACパワーアダプターを接続するときは、必ず充電池を本機に入れてください。
電池残量がありません	電池残量がない。	→ 充電池を充電する(☞15ページ)。
登録制限数を超えています	ブックマークの登録制限数を超えた。	→ 不要なブックマークを消し(☞42ページ)制限数以内でブックマークをつける。

次のページにつづく ⇩

登録できません エラーです	エラーが発生したため、ブックマークが登録できない。	→ もう一度登録を行う。
トラックがありません	曲一覧で曲が表示されていない状態で、再生しようとした。	→ 曲が表示されている曲一覧で再生する。 → 本機に音楽データを転送する（☞26ページ）
ブックマーク再生中に解除して下さい	ブックマーク再生中以外に、ブックマークを解除しようとした。	→ ブックマークは、再生中の曲が登録されているブックマーク1～5を、プレイリスト一覧から選び、再生しているときのみ解除できます。
本機では再生できないトラックです	● 本機で再生が許可されていない曲を再生しようとした。 ● 回数制限付きの曲を再生しようとした。	→ 本機で再生が許可されていない曲は再生できない。
ラインアウト設定のため変更できません	「オーディオ出力」の設定が「ラインアウト」のときに、音量または「サウンド」の設定を変更しようとした。	→ 「オーディオ出力」の設定を「ヘッドホン」にする（☞55ページ）。
AC パワーアダプターをつないで下さい	ACパワーアダプターを接続せずに、ファームウェアを更新しようとした。	→ ACパワーアダプターを接続する（☞15ページ）。
AVLS ON 音量を上げられません	音量がAVLSの制限値まで上がった。	→ 「AVLS」の設定を「AVLSオフ」にする（☞55ページ）。
HDD が正しく初期化されていません	● ハードディスクが正しく初期化されていない。 ● パソコンで初期化されている。 ● ハードディスク交換などで初期化していない。	→ ハードディスクを初期化しなおす（☞65ページ）。

次のページにつづく ⇩

HDDは5℃～35℃で書き込み可能です	書き込み可能温度（5 ～ 35℃）の範囲外で操作しようとした。	➜ 5 ～ 35℃の範囲内で操作する。
HOLD中です	HOLDスイッチがONになっているため、本機の操作ができない。	➜ HOLDスイッチを矢印と反対の方向にスライドして、HOLDを解除する（☞33ページ）。
5℃～ 35℃内で充電して下さい	充電可能温度（5 ～ 35℃）の範囲外で充電しようとした。	➜ 5 ～ 35℃の範囲内で充電する。

お手入れ

キャビネットの汚れは

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で拭いた後、乾ぶきします。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液をしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので使わないでください。内部に水が入らないようにご注意ください。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布で乾ぶきしてください。

保証書とアフターサービス

目次
索引

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、ポータブルハードディスクオーディオプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お客様ご相談センターまたはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

目次
索引

記録できる最大曲数* の目安

ATRAC3	ATRAC3plus	MP3
5,000曲（132kbps）	2,500曲（256kbps）	5,000曲（128kbps）
6,000曲（105kbps）	10,000曲（64kbps）	10,000曲（64kbps）
10,000曲（66kbps）	13,000曲（48kbps）	

* 1曲4分の曲を転送した場合

サンプリング周波数

44.1 kHz（Atrac3plus）
32/44.1/48 kHz（MP3）

再生信号圧縮方式

アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング3plus（ATRAC3plus）
MPEG-1 Audio Layer-3（MP3）

周波数特性*

20 Hz 〜 20,000 Hz（再生時、単信号測定）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の規格による測定値です。

出力端子

🎧（ヘッドホン）/LINE OUT*：
ステレオミニジャック/180 mV（10k Ω）

* ヘッドホンとLINE OUTは兼用ジャックです。

動作温度

5 〜 35℃

次のページにつづく ⇩

電源

充電式リチウムイオン電池：
LIP-880PD、3.7 V、880 mAh、Li-ion 1個
ACパワーアダプター：DC IN 6V

電池持続時間（連続再生時）

ATRAC3plus形式（48kbps）：約40時間
MP3形式（128kbps）：約30時間

本体寸法（幅×高さ×奥行き）

約59.9×88.7×14.2 mm
（最大突起部を含まず）

最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）（JEITA*）

約59.9×89.3×14.5 mm

質量

本体：約135 g（JEITA*）

* 電子情報技術産業協会（JEITA）の測定方法に基づいています。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

索引

次のページにつづく ⇩

次のページにつづく ⇩

I、J、K、L

M、N、O、P

Q、R、S、T

U、V、W、X、Y、Z

記号

お問合せ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ**
  (http://www.sony.co.jp/support-pa/)
  ネットワークウォークマンに関する最新サポート情報や、よくあるお問合せとその回答をご案内しています。
- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ(下記電話・FAX番号)**
  - 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]－[ウォークマン]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

◆ セット本体に関するご質問時:
- 型名: NW-HD5
- 製造(シリアル)番号:本体底面のラベルに記載
- ご相談内容:できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時:
質問の内容によっては、お客様のシステム環境についてご質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境(「必要な環境を準備する」☞18ページ)を事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ･･････････ 0570-00-3311
(全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます)
● 携帯電話・PHSでのご利用は･･･03-5448-3311
(ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください)
● FAX ･････････････････････ 0466-31-2595
受付時間 :月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35